

参加校において新たにタッチパネルを購入する必要はありません。
タッチパネルが無い学校については競技運営側で用意します。
また、競技大会前日に使用方法について競技委員関係者が説明致します。

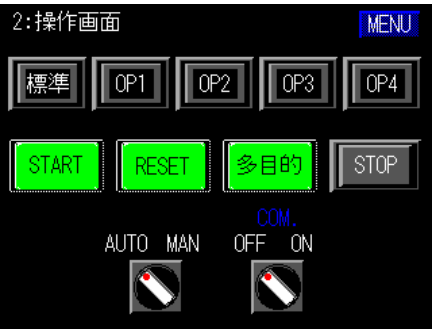
【画面一覧】



0 : メニュー画面



1 : 仕様選択画面



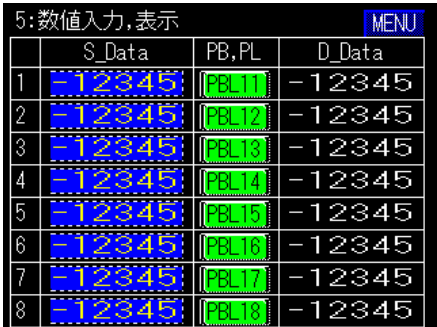
2 : 操作画面



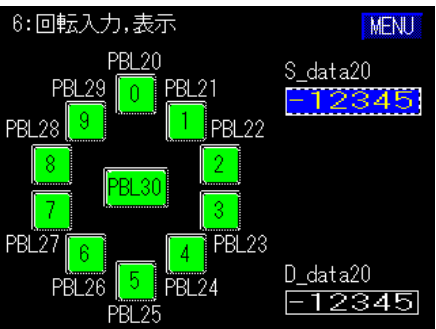
3 : MANUAL 画面



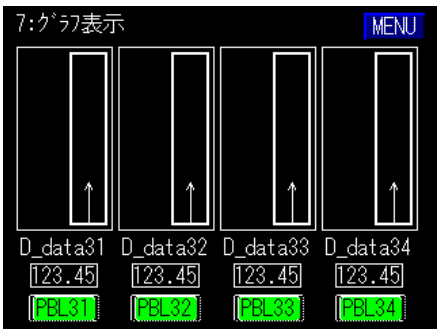
4 : PB,PL 画面



5 : 数値入力,表示画面



6 : 回転入力,表示画面



7 : グラフ表示画面

【全画面共通事項】

- ・ ボタンは全てモーメンタリ形の押しボタンとする。
- ・ ボタン押し時に、ブザーなどの確認音を鳴らすこと。またランプと同位置でないボタンに限り、色の反転を行うこと（STOP ボタンや PB0～PB7 など）。いずれもタッチパネル自体の機能を使用する。
- ・ ランプ、セレクトスイッチ、数値表示器、数値設定器のラッチ設定は無しとする。（停電保持させない）
- ・ アドレス番号は各チーム任意に設定のこと。
- ・ 同位置にあるボタンとランプのアドレスは同一でない。別々に割り付けること。（START や PBL など）
- ・ MENU ボタンはメニュー画面へジャンプするためのボタン。
- ・ 画面のレイアウトの変更は禁止とする。（若干のズレ程度であれば可）
- ・ タッチパネルの接続ステーションは任意とする。

【画面説明】



各チームで使用している PLC 名を表示する。

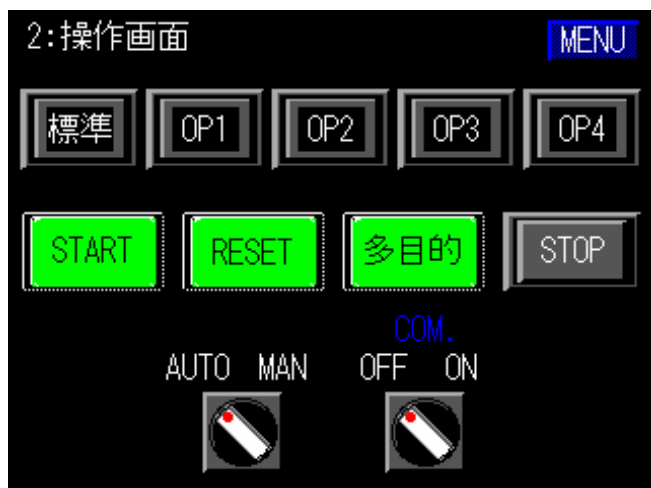
部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
1:選択	ボタン			
2:操作	ボタン			
3:MAN.	ボタン			
4:PB,PL	ボタン			
5:数値	ボタン			
6:回転	ボタン			
7:グラフ	ボタン			
8:予備	ボタン			

- ・ ボタンは指定画面へジャンプするための押しボタン。



部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
標準	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL	操作画面と共通	
OP1	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL	操作画面と共通	
OP2	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL	操作画面と共通	
OP3	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL	操作画面と共通	
OP4	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL	操作画面と共通	

- ・ ランプのアドレスは、「2：操作画面」の同一部品名ランプと共通。



部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
標準	ランプ	BOOL	仕様選択画面と共通	
OP1	ランプ	BOOL	仕様選択画面と共通	
OP2	ランプ	BOOL	仕様選択画面と共通	
OP3	ランプ	BOOL	仕様選択画面と共通	
OP4	ランプ	BOOL	仕様選択画面と共通	
START	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
RESET	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
多目的	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
STOP	ボタン	BOOL		
AUTO/MAN	セレクトスイッチ	BOOL		
COM.	セレクトスイッチ	BOOL		

- ・ 標準、OP1～4 のランプのアドレスは、「1:仕様選択画面」の同一部品名ランプと共通。
- ・ セレクトスイッチは手動復帰形とする。



部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
前進	ボタン	BOOL		
後退	ボタン	BOOL		
単独 1	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 2	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 3	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 4	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 5	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 6	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 7	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
単独 8	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		

部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
1 戻端	ランプ	BOOL		
2 戻端	ランプ	BOOL		
3 戻端	ランプ	BOOL		
4 戻端	ランプ	BOOL		
5 戻端	ランプ	BOOL		
6 戻端	ランプ	BOOL		
7 戻端	ランプ	BOOL		
8 戻端	ランプ	BOOL		
1 前端	ランプ	BOOL		
2 前端	ランプ	BOOL		
3 前端	ランプ	BOOL		
4 前端	ランプ	BOOL		
5 前端	ランプ	BOOL		
6 前端	ランプ	BOOL		
7 前端	ランプ	BOOL		
8 前端	ランプ	BOOL		



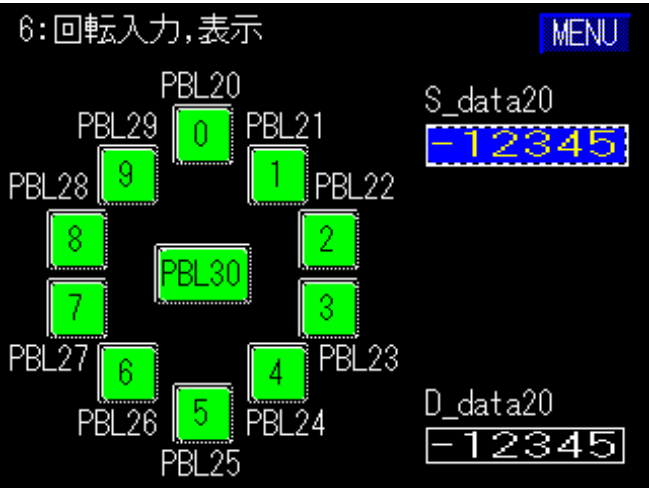
部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
PB0	ボタン	BOOL		
PB1	ボタン	BOOL		
PB2	ボタン	BOOL		
PB3	ボタン	BOOL		
PB4	ボタン	BOOL		
PB5	ボタン	BOOL		
PB6	ボタン	BOOL		
PB7	ボタン	BOOL		
PL0	ランプ	BOOL		
PL1	ランプ	BOOL		
PL2	ランプ	BOOL		
PL3	ランプ	BOOL		
PL4	ランプ	BOOL		
PL5	ランプ	BOOL		
PL6	ランプ	BOOL		
PL7	ランプ	BOOL		

5:数値入力,表示				MENU
	S_Data	PB,PL	D_Data	
1	-12345	PBL1	-12345	
2	-12345	PBL2	-12345	
3	-12345	PBL3	-12345	
4	-12345	PBL4	-12345	
5	-12345	PBL5	-12345	
6	-12345	PBL6	-12345	
7	-12345	PBL7	-12345	
8	-12345	PBL8	-12345	

部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
S_data1	数値設定器	INT		
S_data2	数値設定器	INT		
S_data3	数値設定器	INT		
S_data4	数値設定器	INT		
S_data5	数値設定器	INT		
S_data6	数値設定器	INT		
S_data7	数値設定器	INT		
S_data8	数値設定器	INT		
D_data1	数値表示器	INT		
D_data2	数値表示器	INT		
D_data3	数値表示器	INT		
D_data4	数値表示器	INT		
D_data5	数値表示器	INT		
D_data6	数値表示器	INT		
D_data7	数値表示器	INT		
D_data8	数値表示器	INT		

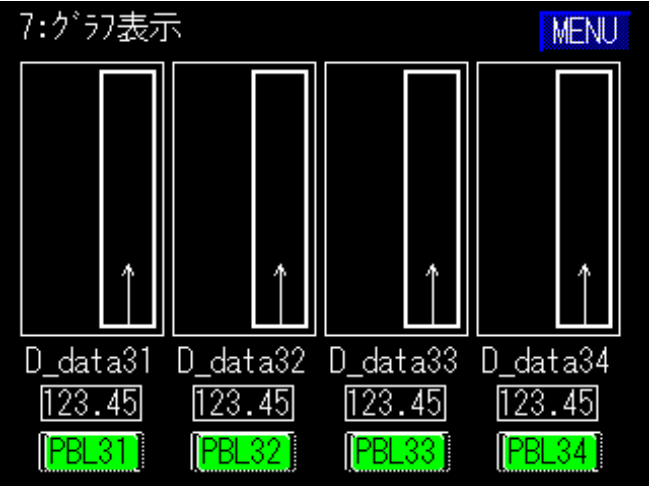
- ・ S_data1～8 をタッチするとテンキーが表示され数値設定可能になる。
- ・ 数値表示器、数値設定器のデータ範囲は－32768～＋32767。

部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
PBL11	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL12	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL13	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL14	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL15	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL16	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL17	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL18	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		



部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
S_data20	数値設定器	INT		
D_data20	数値表示器	INT		
PBL20	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL21	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL22	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL23	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL24	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL25	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL26	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL27	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL28	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL29	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL30	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		

- ・ S_data20 をタッチするとテンキーが表示され数値設定可能になる。
- ・ 数値表示器、数値設定器のデータ範囲は－32768～＋32767。



部品名	区分	データ型	アドレス	変数名
D_data31	数値表示器	INT		
D_data32	数値表示器	INT		
D_data33	数値表示器	INT		
D_data34	数値表示器	INT		
PBL31	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL32	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL33	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		
PBL34	ボタン	BOOL		
	ランプ	BOOL		

- D_data31～34 の数値を上部領域にグラフ表示する。
- 数値表示器のデータ範囲は 0～12500。（表示は小数点 2 桁）